

ソフトテニス競技の国際普及に向けた条件に関する方策の研究

A study on the plan for solving conditions we familiarize soft tennis to all over the world

1K07B050-7 鹿島 鉄平

指導教員 主査 吉永 武史先生 副査 宮崎 正己先生

【研究の目的】

本研究では、ソフトテニス競技が今後国際普及していくための方策を探り、検討していくことを目的としている。現在ソフトテニス競技はマイナーな競技であり、テレビなどのメディアに露出される機会も非常に少ない。またプロがないため、高校や大学で競技としてソフトテニス競技に取り組んできたプレーヤーが社会人になった際に、ソフトテニス競技で生活していくのは不可能であるという理由でソフトテニス競技をしなくなってしまうという現状がある。実業団でプレーヤーを続けるという選択肢もあるが、日本国内の長引く不況により、会社でのチームの扱いが良い企業は極めて少ないため、トップレベルのパフォーマンスを維持するのが非常に難しい。このような状況を打破していくためにも、ソフトテニス競技のスポーツとしての地位をより高いレベルにしなければならない。そのためには、現在ほぼアジアの国々でしか行われていないソフトテニス競技を、より多くの国々に普及していくことによって国際大会のレベルを上げていくことが必要であると考え、この研究テーマを掲げた。

【研究の方法】

本研究では、ソフトテニス競技の現状と発展的課題、サッカー競技にみるスポーツの国際普及に向けた方策、国際普及のためのソフトテニス競技のメディア戦略という3点から国際競技化について検討していく。また、検討を進めていくにあたっては、ソフトテニス競技、ならびにサッカーを取り上げ、それに関する文献資料を中心に分析ならびに考察を行っていく。サッカーを取り上げる理由としては、かつてソフトテニス競技と同様にマイナーな競技であったのが、Jリーグの発足や国際普及によってメジャーな競技へと発展していった競技であり、ソフトテニス競技の国際普及に向けた方策を探るために参考になると考えたからである。

【結果と考察】

ソフトテニスの国際普及に向けては、まずソフトテニス競技発祥国である日本国内において、ソフトテニスがメジャーな競技へと発展していくことが望まれる。メジャーな競技といえる条件としては、メディアへの露出が多いこと、プロリーグが存在することが挙げられる。本研究において取り上げたサッカーにおいては、かつてはマイナーな競技であったのが、日本リーグがプロリーグであるJリーグへと発展していくことによって一気にメジャーな競技へと加速していった。観客の動員数も向上し、メディアへの露出の機会も飛躍的に多くなった。そして現在では、Jリーグをモデルとしてアジア各国への国際普及を行っている。ソフトテニス競技においてこの流れは大変参考になるものである。特にプロ化については、今後のソフトテニス競技の発展において必要不可欠な条件になってくるであろう。日本国内においてプロリーグが出来ていき、その流れを汲んでまずはアジア各国に同様のプロリーグができていく。そして最終的には世界中にプロリーグが出来ていき、多くのソフトテニス競技の国際大会が開催されていくようにしていかなければならない。その結果、当然メディアへの露出も増えていくことであろう。本研究の結論としては、現在ある日本リーグをプロリーグへと発展させていき、それをベースにして国際普及を進めていくという、サッカーを参考にした形が良いという結論に至った。

【今後の課題】

本研究では「ソフトテニス競技の現状と普及的課題」、「サッカー競技にみるスポーツの国際普及に向けた方策」、「国際普及のためのソフトテニス競技のメディア戦略」について検討したが、あくまで理論的に可能性を検討したものであり、ソフトテニス競技の国際普及が実現できるか否かについては未検証である。したがって、これまでの考察したことが国際普及に有効かどうかを実証的に検討していく必要がある。